

「トゥルスンゾダ市カラトグ地区サイダリ・タバロフ村第 81 学校建設計画」引渡し式

9月20日、宮下大使は、首都ドゥシャンベの約70km西方に位置するトゥルスンゾダ市を訪問し、「草の根・人間の安全保障無償資金協力」のスキームで実施された学校建設プロジェクトの引渡し式に出席したところ、概要は以下のとおりです。

1 このプロジェクトは、トゥルスンゾダ市カラトグ地区サイダリ・タバロフ村第81学校の学習環境改善を目的として、我が国政府が総額90,460米ドルを供与し、トゥルスンゾダ市によって実施されました。第81学校は村唯一の公共教育機関ですが、メイン校舎は築40年以上経過して老朽化が進み、天井や壁、床は損傷が激しく、一刻も早い建替えが必要な状況にありました。今回のプロジェクト完了によって、第81学校の1年生から5年生までの児童389人が、安全かつ快適な教室で授業を受けられるようになりました。

2 新校舎の内部を視察した宮下大使は、各教室を一つ一つ回りながら児童らと懇談した後、引渡し式に出席し、「日本国大使館として、トゥルスンゾダ市、地域の住民及び児童・生徒の両親などと共に今回のプロジェクトを実現できたことを嬉しく思うとともに、プロジェクトに協力してくれた全ての人々に感謝申し上げます。そして、児童らが新校舎で一所懸命に学び、タジキスタンの更なる発展に向けた原動力となることを期待しています」旨述べたのに対し、パルヴィズ・アクラムゾダ市長はじめトゥルスンゾダ市及び第81学校の関係者からは、日本の支援に対する謝意が表明されました。

